

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号（第29号）のトピックス

- 8月20日、都庁で危機管理対策会議が開催されました
- 第33週(8月10日～16日)のインフルエンザ患者報告数は 545人、
定点当たり 2.14人(去年同期 0人、定点当たり 0.00人)
- 新型インフルエンザ集団発生：千代田、港、文京、台東、墨田、江東、品川、目黒、
大田、杉並、北、荒川、板橋、足立、葛飾、八王子、立川、三鷹、府中、調布、日野、
国立、福生、東大和、武蔵村山、西東京、日の出、三宅の28区市町村
- 26都府県でインフルエンザ定点当たりの患者報告数が1人を超えました

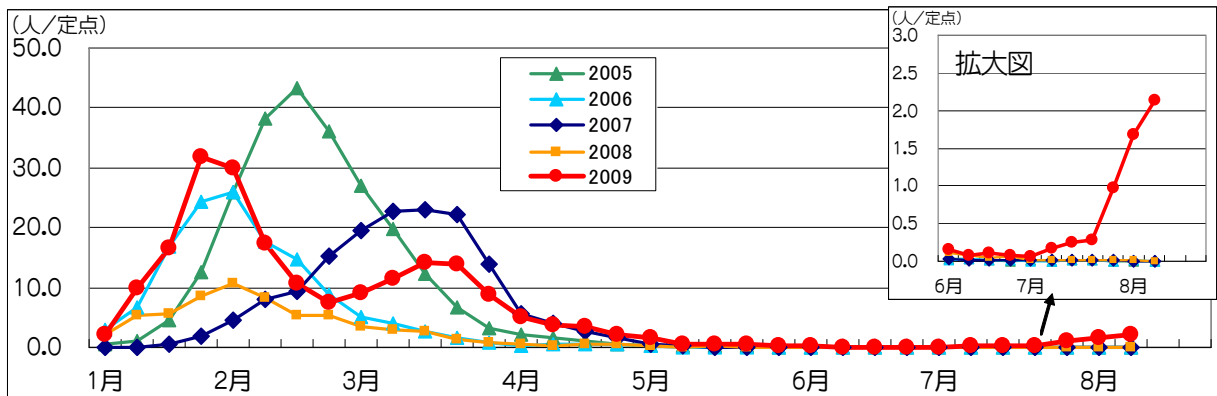


図1. インフルエンザ：過去5シーズンの患者報告数の推移（東京都）

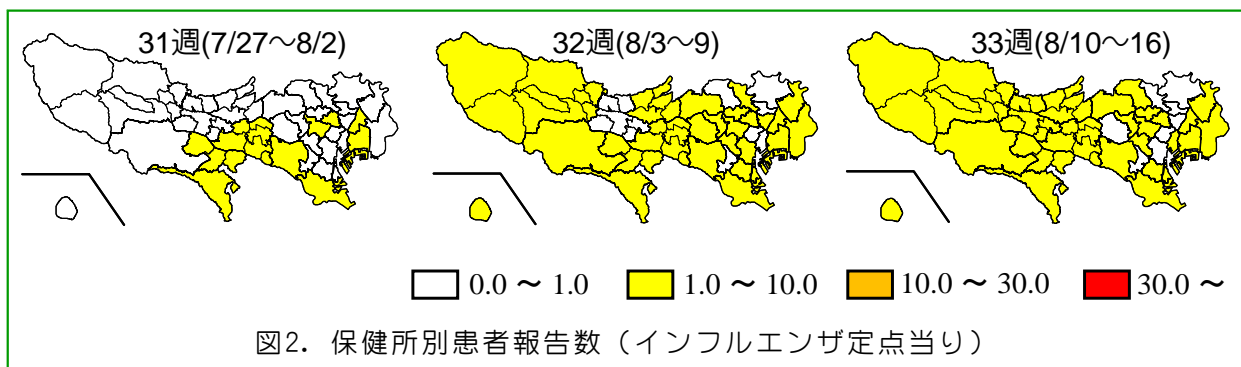


図2. 保健所別患者報告数（インフルエンザ定点当たり）

1 危機管理対策会議の開催

都内において新型インフルエンザ感染者が増加していることから、20日、都庁で危機管理対策会議が開催されました。この会議では、医療体制の確保、サーベイランス体制の強化、医療資材等の確保、普及啓発等、秋に向けた対策について検討されました。詳細については、東京都ホームページ（www.metro.tokyo.jp）をご覧ください。

2 インフルエンザ患者発生状況

第33週（8月10日～16日）

【東京都】インフルエンザ定点からの患者報告数は545人、定点当たり2.14人と先週（1.68人/定点）の約1.3倍となりました（図1）。今週も例年に比べて非常に高い値になっています（去年同期 0人、0.00人/定点）。都内の多くの地域が、流行の目安となる定点当たりの患者報告数1人を超えています（図2）。

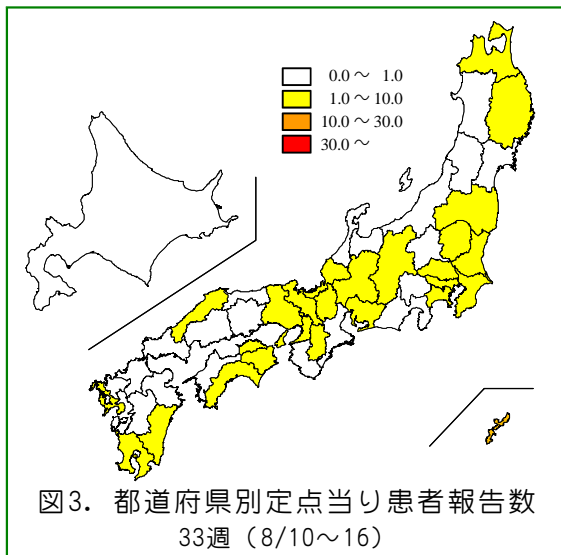


図3. 都道府県別定点当たり患者報告数
33週(8/10~16)

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス			
			AH1	AH3	B	AH1pdm
36-18週(9/1-5/3)	864	394	223	104	94	
19-31週(5/4-8/2)*	326	37	0	7	8	22
32週(8/3-9)	34	21	0	0	0	21
33週(8/10-16)	39	16	0	0	0	16
合計			223	111	102	59

*AH1pdm: 新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/H1N1)
19週以降に搬入された検体から検査実施

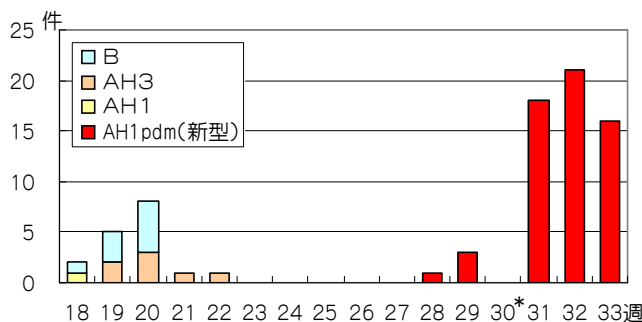


図4. インフルエンザウイルス検出数
(都: 定点医療機関)

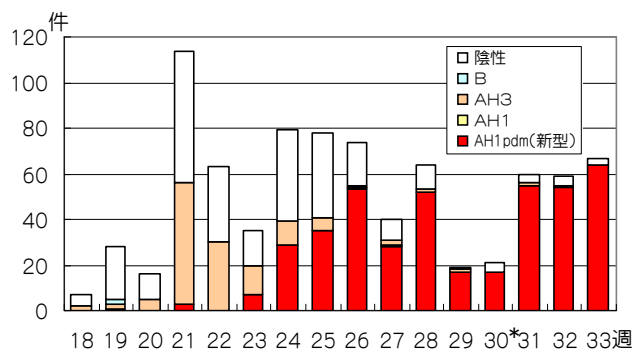


図5. インフルエンザウイルス検出数
(東京都感染症アラート検査、クラスターサーベイランス等)

注) 30週*: 7/23までは全数把握期間。
7/24からは集団発生把握期間。

【全国】患者報告数は7,750人、定点当たり1.69人です。全国でも先週(0.99人/定点)の約1.7倍になり、例年に比べて非常に高い値になっています。沖縄(29.60人/定点)、奈良(2.96人/定点)、滋賀(2.48/定点)をはじめとする26都府県では、定点当たりの報告数が1人を超える状況になっています。東京(2.14人/定点)は全国で5番目に高くなっています(図3)。

3 新型インフルエンザ集団感染発生状況

33週に千代田、港、文京、台東、墨田、江東、品川、目黒、大田、杉並、北、荒川、板橋、足立、葛飾、八王子、立川、三鷹、府中、調布、日野、国立、福生、東大和、武蔵村山、西東京、日の出、三宅の28区市町村で計48件の新型インフルエンザによる集団発生が報告されました。保育園、学校、学童施設、福祉施設、サークル、塾など多岐にわたる施設で起きています。

4 東京都の検査情報

(2008年9月以降)

感染症発生動向調査事業により定点医療機関から当センターに搬入された検体から33週に16件の新型インフルエンザウイルス(AH1pdm)が検出されました(表1、図4)。

また、クラスターサーベイランス等では、33週に新型インフルエンザウイルスが64件検出され、累計414件になりました(図5)。

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/